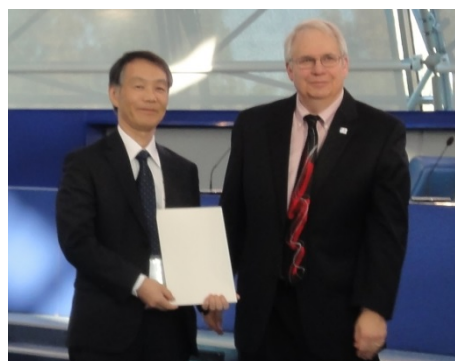


2015 年 IEC トーマス・エジソン賞を受賞して

IEC TC 100 国際幹事
ソニー株式会社
江崎 正

2015 年 10 月 12 日から 16 日まで、IEC 大会がベラルーシのミンスクで開催されました。10 月 12 日に開催された標準管理評議会 (SMB: Standardization Management Board) において、SMB 議長 (IEC 副会長) の J. E. Matthews 氏から 2015 年 IEC Thomas A. Edison Award を拝受いたしました。

このような賞をいただき大変光栄に思います。この賞は、IEC の標準化活動に貢献した TC/SC の議長・幹事に与えられるもので、TC 100 (オーディオ、ビデオ、マルチメディアシステム及び機器) の国際幹事としての貢献が評価されたものです。これは、TC 100 及び JEITA の AV&IT 標準化委員会、TC 100 国内委員会の皆さまのご協力の賜物と思っています。また、表彰の場では、同じ TC 100 の TA 4 (Technical Area 4) の TAM (Technical Area



左: 江崎 TC100 幹事、右: Matthews SMB 議長

Manager: SC 議長に相当) である韓国の Lee 氏も同賞を受賞しました。TC 100 の同僚であり、よく相談に乗ってきた Lee 氏も一緒に受賞できたことは、私にとって二重の喜びです。

2004 年に TC 100 の幹事国を日本がオランダから引き継いだときに、国際副幹事に就任し、2011 年に国際幹事となりました。この間、10 年以上に亘り、時に当時の平川国際幹事 (現 SMB 委員) と二人三脚で、国際幹事団として公正な運営を心がけつつ、日本の強みである AV&IT 業界の発展のためにこの領域の標準化がスムーズに進められるよう努めてきました。特に、この分野の特徴である、コンソーシアムやフォーラム規格の IEC 規格化を推進してきました。また、TC 100 では常に新しい技術分野の標準化を追求しており、新たに TA 14 (PC 機器のインターフェースと測定方法)、TA 15 (ワイヤレス給電)、TA 16 (AAL、アクセシビリティ及びユーザインターフェース) を設置しました。さらに、この分野では ITU-T、JTC 1 とのオーバーラップが課題となっており、定期的にコミュニケーションをとるよう努めてきました。

TC 100 では、動きの速い、いわゆる Fast moving technology を扱うため、Project を主体としてグループ化した Technical Area (TA)システムを採用するなど、他の TC/SC と少し違った運営をしており、日々、迅速で効率的な IEC 規格化を達成するべく努力しています。最近では TC 100 の CDV の翻訳期間の短縮を求める QP (Question of Principle: SMB に承認を求める文書) を提出しました。残念ながらこのような特別な扱いはなかなか受け入れられませんが、今後も業界のためにチャレンジしていきたいと思えます。

日本人の特徴は寡黙で勤勉なこと。私もどちらかというとその類と思いますが、ただでさえ英語で伝えることにハードルがあるところ、一つを話して十わかってもらおう、という期待をするわけですが、日本人慣れした外国人以外にはなかなか通じません。私はなるべく説明を丁寧に、文書にしたり、例を挙げたりするなどして伝えるようにしています。このようなことも幹事として信頼を得る上で大事なことかもしれません。

引き続き、国際幹事として TC 100 の運営及び IEC 活動に貢献していく所存ですが、標準化に関するコンサルティングや標準化人材の育成にも微力ながらお役に立ちたいと思っています。

最後に、ご推薦をいただいた、JEITA、IEC-APC、さらに、米国からの共同推薦をアレンジしていただくなど、多大なご支援をいただいた、SMB 委員の平川様、経済産業省の皆さまにお礼申し上げます。

参考 : IEC ホームページ「IEC Thomas A. Edison Award Recipients 2015」

http://www.iec.ch/about/awards/thomasedison/thomas_edison_recipients.htm

IEC ホームページ News release 2015 – Number 33

「Outstanding contributions of 8 technology leaders recognized - 2015 Thomas A. Edison Awards for exceptional achievement」

<http://www.iec.ch/newslog/2015/nr3315.htm>

以上